

船舶事故調査報告書

平成26年1月9日

運輸安全委員会（海事専門部会）議決

委員 横山 鐵男（部会長）

委員 庄司 邦昭

委員 根本 美奈

事故種類	衝突（護岸）
発生日時	平成24年8月12日（日） 20時15分ごろ
発生場所	広島県尾道糸崎港第6区の埋立護岸 広島県三原市所在の小佐木島灯台から真方位338° 1,570m 付近 （概位 北緯34° 22.6′ 東経133° 05.6′）
事故調査の経過	平成24年11月1日、本事故の調査を担当する主管調査官（広島事務所）ほか1人の地方事故調査官を指名した。 原因関係者から意見聴取を行った。
事実情報 船種船名、総トン数 船舶番号、船舶所有者等 L×B×D、船質 機関、出力、進水等	モーターボート TAKAHASHI、5トン未満 273-4368広島、個人所有 6.79m (Lr) × 2.57m × 1.31m、FRP ガソリン機関（船外機）、147.1kW、平成元年10月
乗組員等に関する情報	船長 男性 50歳 二級小型船舶操縦士・特殊小型船舶操縦士・特定 免許登録日 平成9年10月23日 免許証交付日 平成18年11月21日 （平成24年10月22日まで有効） 同乗者A 女性 42歳
死傷者等	重傷 1人（同乗者A）、軽傷 1人（船長）
損傷	本船 船首部の圧損 護岸 なし
事故の経過	本船は、船長が1人で乗り組み、同乗者A及び同乗者Bを乗せ、平成24年8月12日20時00分ごろから行われていた花火大会を尾道糸崎港第6区の和田岸壁沖で見物中、船長が見物場所を移動しようとして前進した直後、20時15分ごろ第6区の埋立護岸（以下「本件護岸」という。）に衝突した。 船長及び同乗者は、衝突に気付いた陸上の見物客に救助され、船長及び同乗者Aは救急車で病院に搬送された。 同乗者Aは右肩脱臼及び右腸骨骨折を、船長は打撲傷等をそれぞれ負った。
気象・海象	気象：天気 曇り、風向 北西、風力 1、視界 良好

	海象：潮汐 下げ潮の初期、潮高 約290cm
その他の事項	尾道糸崎港第6区にある貝野地区の埋立工事区域のうち、2工区第1ブロックと呼ばれる区域は、長さ約90mで約043°方向に築造された護岸、長さ約360mで約133°方向に築造された護岸、長さ約210mで約198°方向に築造された護岸及び長さ約200mで約264°方向に築造された本件護岸で閉鎖されており、最低水面からの高さが約4.9mであり、東端、南東端及び南西端の上面には、それぞれ高さ約2.6mの黄色点滅灯が設置されていた。
分析 乗組員等の関与 船体・機関等の関与 気象・海象の関与 判明した事項の解析	不明 不明 なし 本船は、尾道糸崎港において、花火見物の場所を移動しようとした際、本件護岸に衝突したものと考えられるが、船長及び同乗者から情報が十分に得られなかったため、衝突に至った状況を明らかにすることはできなかった。
原因	本事故は、夜間、本船が、尾道糸崎港において、花火見物の場所を移動しようとした際、本件護岸に衝突したことにより発生したものと考えられる。